

3. 工 業

① 全体の概況

i 主要項目（事業所数^{※1}、従業者数^{※1}、製造品出荷額等^{※2}、付加価値額^{※2}）の推移

2020年工業統計調査確報における本県の工業は、事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額のすべてにおいて前年を下回った。

製造品出荷額等の推移を見ると、2002年以降増加が続き2008年に過去最高となった。2009年に大きく減少し、2011年まで減少傾向であったが、2012年に再び増加に転じて以降、増加傾向が続いた。その後はまた、2015年から減少傾向にあったが、2017年から再び増加に転じたものの、2019年に再び減少した。（表Ⅲ－1）

※1 2020年6月1日現在 ※2 2019年暦年

ii 業種別の状況

2019年の業種（産業中分類）別の製造品出荷額等の前年比は、表Ⅲ－2のとおりである。増加しているのは、「業務用機械」、「非鉄」、「パルプ・紙」等9業種で、減少しているのは、「情報通信機械」、「電子デバイス」等15業種である。（表Ⅲ－2、図Ⅲ－2）

iii 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成割合をみると、従業者299人以下のいわゆる中小規模事業所が、事業所数で98.0%、従業者数で70.8%を占めている。

一方、製造品出荷額等は、従業者300人以上の大規模事業所が52.3%と過半数を占めている。（表Ⅲ－3、図Ⅲ－3）

iv 地域別の状況

地域別の状況を見ると、基盤的技術産業を担う中小企業が集積する葛南、東葛飾地域において事業所数、従業者数ともに高い割合を占め、両地域を合わせると、事業所数で38.2%、従業者数で35.5%と全体の約4割を占めている。（表Ⅲ－4、図Ⅲ－4）

一方、製造品出荷額等については、素材・エネルギー等の産業が集積している臨海部（浦安市から富津市までの臨海埋立地）で60.0%と高い割合を占めている。

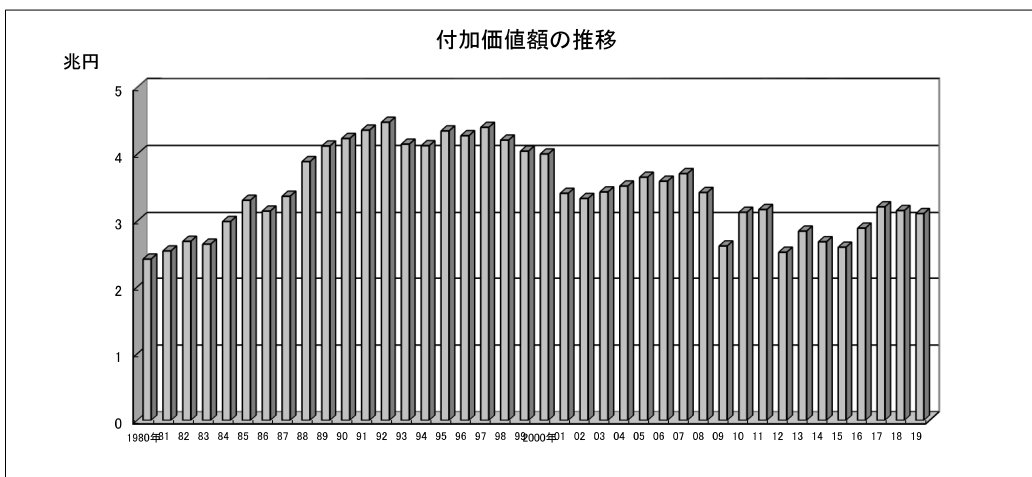
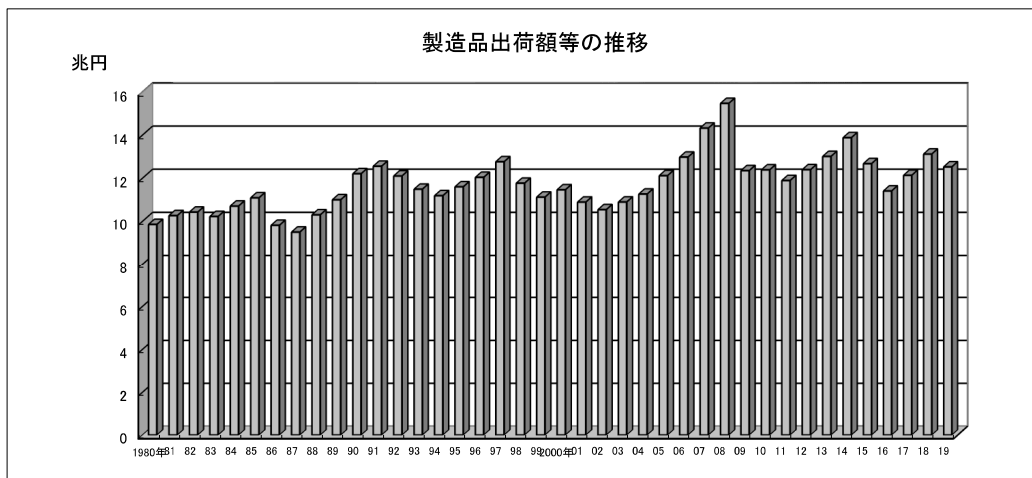
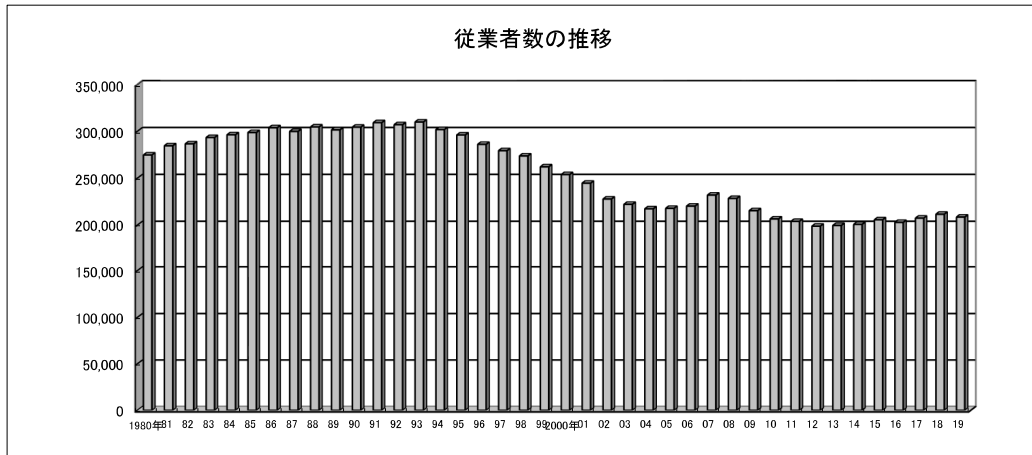
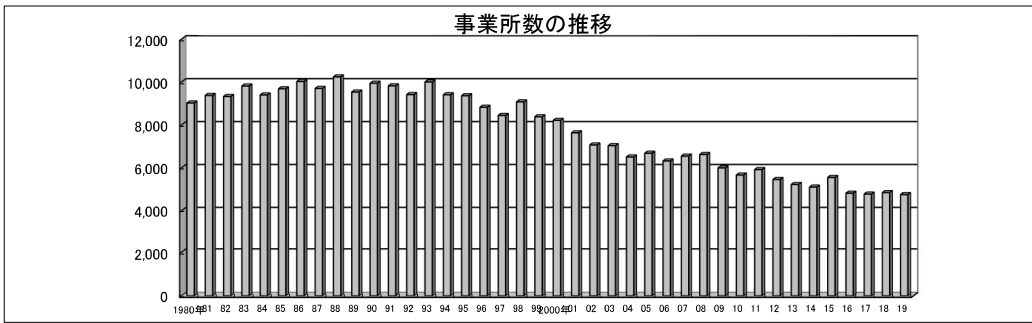
（表Ⅲ－5、図Ⅲ－5）

表Ⅲ－１ 千葉県の事業所数・従業者数・製造品出荷額等・付加価値額の推移

区分	事業所数		従業者数		区分	製造品出荷額等		付加価値額	
	実数	前年比(%)	人	前年比(%)		金額(万円)	前年比(%)	金額(万円)	前年比(%)
1980年	9,021	△ 0.0	274,780	1.2	1980年	984,906,100	24.0	243,218,946	5.1
81	9,373	3.9	284,549	3.6	81	1,025,921,790	4.2	255,361,792	5.0
82	9,322	△ 0.5	286,652	0.7	82	1,042,041,137	1.6	269,717,643	5.6
83	9,813	5.3	293,375	2.3	83	1,021,976,911	△ 1.9	265,519,187	△ 1.6
84	9,396	△ 4.2	296,289	1.0	84	1,070,117,291	4.7	299,288,818	12.7
85	9,681	3.0	298,713	0.8	85	1,108,546,925	3.6	331,004,848	10.6
86	10,022	3.5	303,835	1.7	86	980,935,468	△ 11.5	314,854,466	△ 4.9
87	9,696	△ 3.3	299,884	△ 1.3	87	949,538,023	△ 3.2	336,978,838	7.0
88	10,239	5.6	304,685	1.6	88	1,029,585,831	8.4	388,711,428	15.4
89	9,532	△ 6.9	301,494	△ 1.0	89	1,099,486,734	6.8	411,971,602	6.0
90	9,942	4.3	304,409	1.0	90	1,220,174,416	11.0	423,216,119	2.7
91	9,822	△ 1.2	309,250	1.6	91	1,254,907,074	2.8	435,682,056	2.9
92	9,411	△ 4.2	307,072	△ 0.7	92	1,209,751,496	△ 3.6	447,445,243	2.7
93	9,999	6.2	309,938	0.9	93	1,148,496,056	△ 5.1	414,770,259	△ 7.3
94	9,402	△ 6.0	301,854	△ 2.6	94	1,118,228,122	△ 2.6	412,441,800	△ 0.6
95	9,361	△ 0.4	296,107	△ 1.9	95	1,159,487,486	3.7	434,514,080	5.4
96	8,822	△ 5.8	286,082	△ 3.4	96	1,203,432,432	3.8	427,420,608	△ 1.6
97	8,440	△ 4.3	279,348	△ 2.4	97	1,275,843,683	6.0	439,842,792	2.9
98	9,074	7.5	273,702	△ 2.0	98	1,176,220,590	△ 7.8	420,833,142	△ 4.3
99	8,379	△ 7.7	262,126	△ 4.2	99	1,111,733,383	△ 5.5	404,317,922	△ 3.9
2000年	8,210	△ 2.0	253,867	△ 3.2	2000年	1,145,733,115	3.1	400,084,012	△ 1.0
01	7,630	△ 7.1	244,642	△ 3.6	01	1,088,519,983	△ 5.0	341,367,757	△ 14.7
02	7,067	△ 7.4	227,752	△ 6.9	02	1,053,491,584	△ 3.2	333,674,553	△ 2.3
03	7,032	△ 0.5	222,096	△ 2.5	03	1,088,879,607	3.4	343,450,950	2.9
04	6,505	△ 7.5	217,332	△ 2.1	04	1,125,757,301	3.4	352,244,871	2.6
05	6,679	2.7	217,810	0.2	05	1,211,273,652	7.6	365,417,838	3.7
06	6,318	△ 5.4	220,172	1.1	06	1,297,119,852	7.1	359,465,810	△ 1.6
07	6,546	3.6	231,957	5.4	07	1,431,841,181	10.4	370,776,830	3.1
08	6,620	1.1	228,369	△ 1.5	08	1,546,373,461	8.0	342,607,983	△ 7.6
09	5,996	△ 9.4	215,348	△ 5.7	09	1,234,584,495	△ 20.2	262,794,542	△ 23.3
10	5,663	△ 5.6	206,510	△ 4.1	10	1,238,052,899	0.3	313,050,478	19.1
11	5,917	4.5	203,900	△ 1.3	11	1,188,671,804	△ 4.0	317,231,645	1.3
12	5,454	△ 7.8	198,787	△ 2.5	12	1,238,848,267	4.2	253,404,080	△ 20.1
13	5,223	△ 4.2	199,586	0.4	13	1,300,329,740	5.0	284,995,600	12.5
14	5,101	△ 2.3	200,718	0.6	14	1,387,432,982	6.7	269,058,353	△ 5.6
15	5,551	8.8	205,648	2.5	15	1,266,882,431	△ 8.7	260,944,798	△ 3.0
16	4,815	△ 13.3	202,833	△ 1.4	16	1,140,197,595	△ 10.0	289,420,041	10.9
17	4,774	△ 0.9	207,400	2.3	17	1,212,626,962	6.4	321,191,150	11.0
18	4,845	1.5	211,554	2.0	18	1,311,330,296	8.1	315,675,195	△ 1.7
19	4,753	△ 1.9	208,486	△ 1.5	19	1,251,831,564	△ 4.5	311,153,168	△ 1.4

(2020年工業統計調査確報)

※従業者4人以上の事業所が対象。従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなしています。
 ※2007年調査において、新たな事業所の捕そく及び調査項目の変更により前年数値との間に断層が生じています。
 ※2011年及び2015年の数値については、経済センサス-活動調査(製造業)による数値です。工業統計調査と調査母集団が異なることから、比較に際しては留意してください。
 ※事業所数及び従業者数について、2011年は2012年2月1日現在、2015年以降は翌年の6月1日現在、その他年次は同じ年の12月31日現在の数値です。



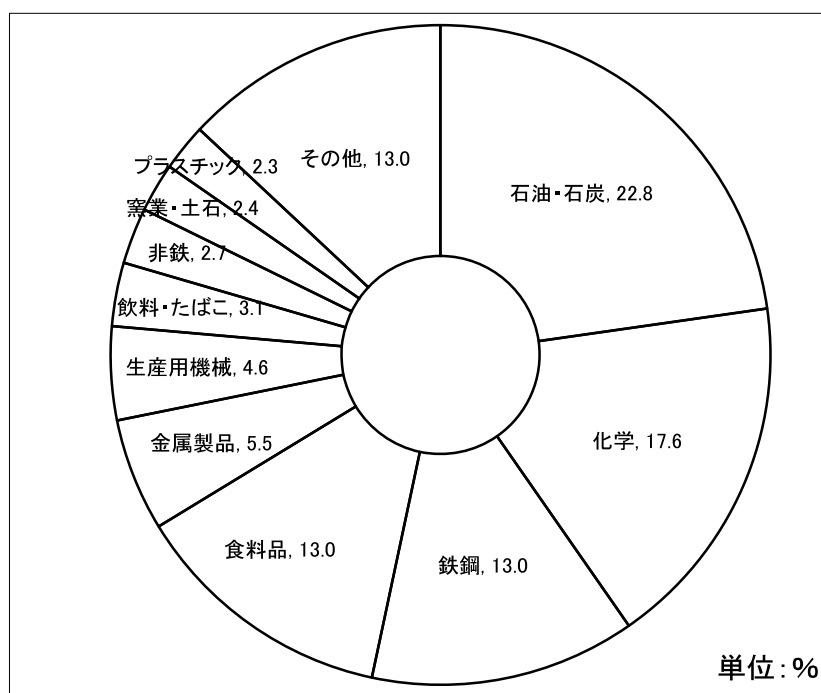
(2020年工業統計調査確報)

表Ⅲ－２ 千葉県の産業中分類別の製造品出荷額等

区 分	製 造 品 出 荷 額 等 (従業者4人以上)		
	金 額 (万円)	前年比 (%)	構成比 (%)
総 数	1,251,831,564	△ 4.8	100.0
食 料 品	162,376,909	△ 0.9	13.0
飲料・たばこ	39,050,846	△ 0.2	3.1
織 維	2,444,840	4.5	0.2
木材・木製品	7,050,247	7.6	0.6
家具・装備品	9,819,476	△ 2.0	0.8
パルプ・紙	14,191,385	10.8	1.1
印 刷	10,609,066	1.3	0.8
化 学	220,094,263	△ 6.4	17.6
石油・石炭	284,795,613	△ 8.9	22.8
プラスチック	28,954,475	△ 8.0	2.3
ゴ ム	4,499,989	△ 0.5	0.4
なめし革	1,144,042	△ 11.2	0.1
窯業・土石	30,201,506	△ 0.1	2.4
鉄 鋼	162,698,671	△ 6.6	13.0
非 鉄	34,293,420	13.3	2.7
金 属 製 品	69,087,826	1.6	5.5
はん用機械	22,853,979	△ 3.3	1.8
生産用機械	57,289,761	△ 5.1	4.6
業務用機械	14,226,565	23.1	1.1
電子・デバイス	17,861,050	△ 16.8	1.4
電気機械	17,825,489	△ 6.5	1.4
情報通信機械	14,808,150	△ 29.8	1.2
輸送用機械	13,138,458	6.0	1.0
その他製造業	12,515,538	4.9	1.0

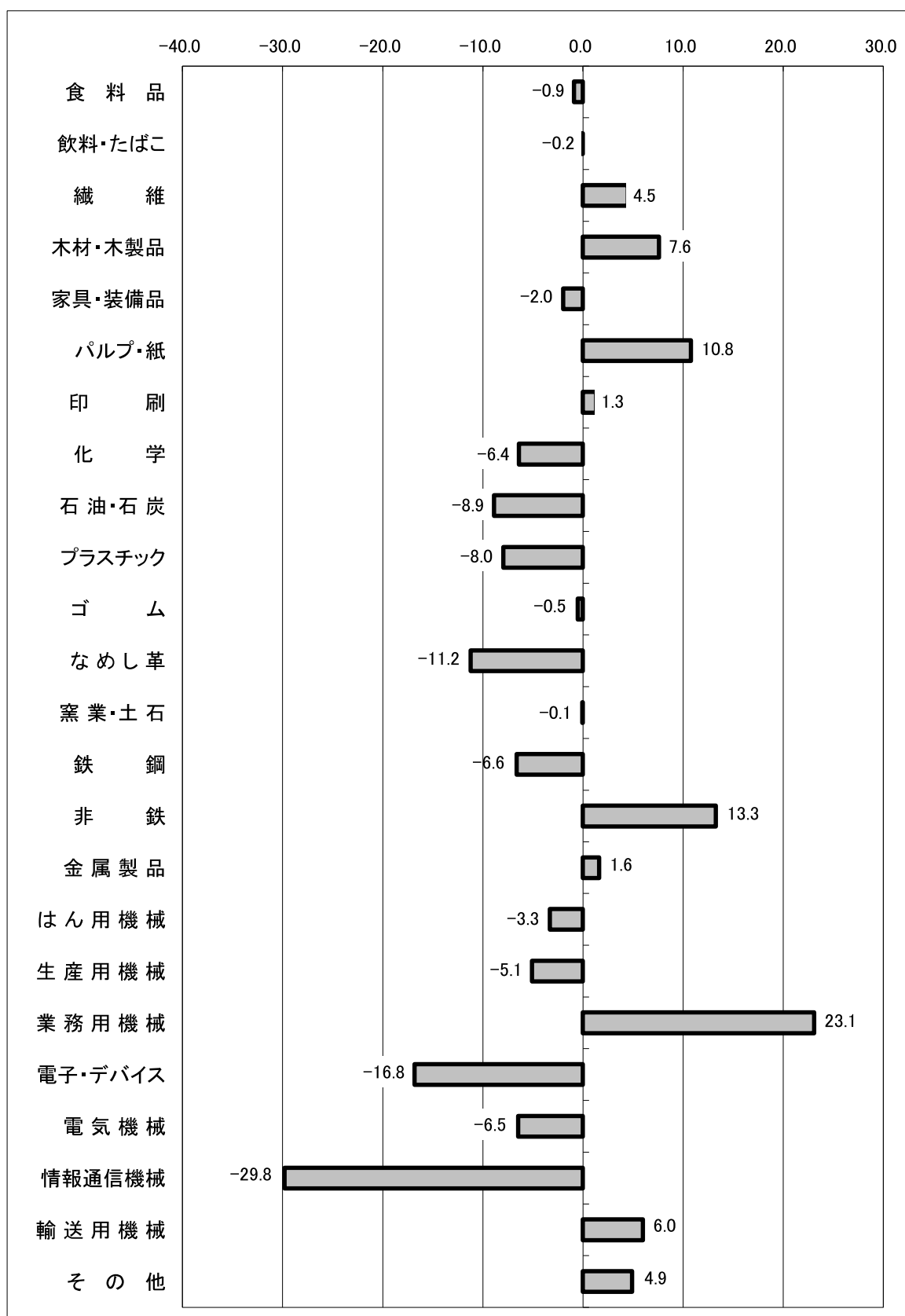
(2020年工業統計調査確報)

図Ⅲ－１ 千葉県の製造品出荷額等の産業中分類別構成割合



(2020年工業統計調査確報)

図Ⅲ－２ 千葉県の産業中分類別製造品出荷額等の対前年増減率 単位：%



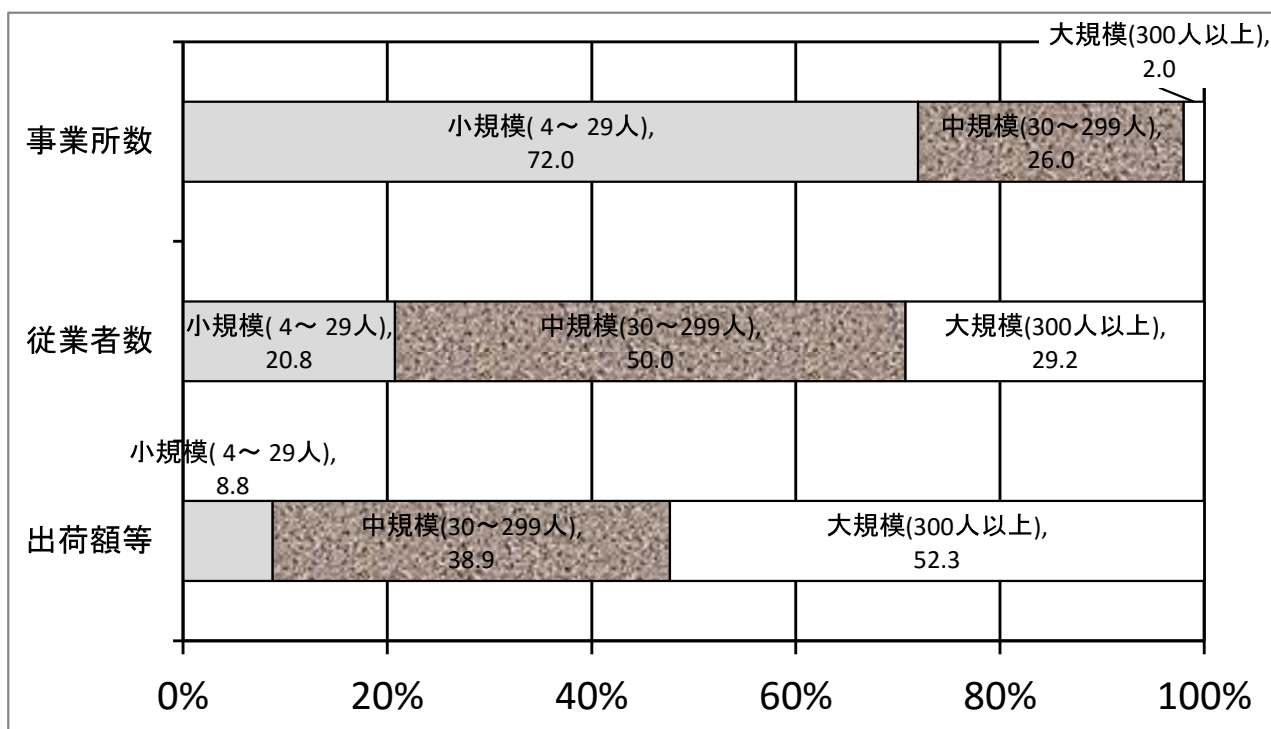
(2020年工業統計調査確報)

表Ⅲ－３ 千葉県に従業者規模別の事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等

区 分	事業所数 (従業者4人以上)			従業者数 (従業者4人以上)			製造品出荷額等 (従業者4人以上)		
	実数	前年比(%)	構成比(%)	人	前年比(%)	構成比(%)	金額(百万円)	前年比(%)	構成比(%)
総 数	4,753	△ 2.1	100.0	208,486	△ 1.7	100.0	12,518,315	△ 4.8	100.0
小規模(4～29人)	3,421	△ 2.6	72.0	43,264	△ 2.7	20.8	1,098,692	△ 10.0	8.8
中規模(30～299人)	1,236	△ 0.7	26.0	104,251	△ 0.4	50.0	4,869,341	2.8	38.9
大規模(300人以上)	96	△ 1.0	2.0	60,971	△ 3.1	29.2	6,550,282	△ 8.8	52.3

(2020年工業統計調査確報)

図Ⅲ－３ 千葉県に従業者規模別の事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等



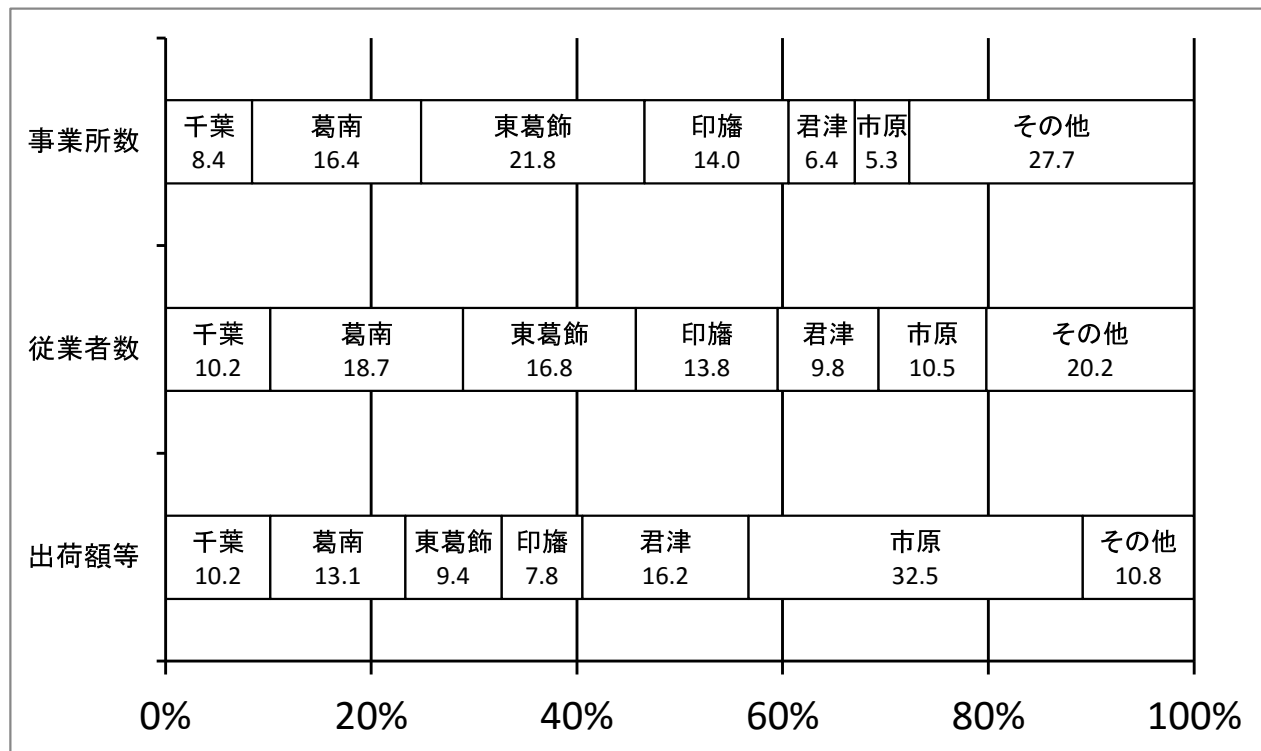
(2020年工業統計調査確報)

表Ⅲ－４ 千葉県の地域別の事業所数，従業者数，製造品出荷額等

区分	事業所数 (従業者4人以上)			従業者数 (従業者4人以上)			製造品出荷額等 (従業者4人以上)		
	実数	前年比(%)	構成比(%)	人	前年比(%)	構成比(%)	金額(百万円)	前年比(%)	構成比(%)
【県計】	4,753	△ 2.1	100.0	208,486	△ 1.7	100.0	12,518,316	△ 4.8	100.0
千葉	400	△ 2.9	8.4	21,276	△ 1.9	10.2	1,276,022	△ 3.1	10.2
葛南	780	0.3	16.4	39,008	△ 3.8	18.7	1,641,527	△ 0.4	13.1
東葛飾	1,034	△ 2.7	21.8	35,033	△ 1.0	16.8	1,172,425	2.4	9.4
印旛	666	△ 2.8	14.0	28,803	△ 0.4	13.8	980,422	△ 1.1	7.8
香取	163	△ 1.8	3.4	6,072	2.2	2.9	183,867	0.5	1.5
海匝	362	△ 3.5	7.6	10,221	△ 3.2	4.9	353,005	△ 3.4	2.8
山武	356	△ 3.5	7.5	10,522	△ 2.6	5.0	362,934	2.9	2.9
長生	191	0.0	4.0	10,134	△ 4.9	4.9	343,581	△ 5.8	2.7
夷隅	107	△ 2.7	2.3	2,783	4.0	1.3	74,941	△ 0.3	0.6
安房	137	△ 3.5	2.9	2,388	△ 1.2	1.1	37,475	0.3	0.3
君津	305	△ 0.7	6.4	20,407	0.4	9.8	2,025,474	△ 9.0	16.2
市原	252	△ 2.3	5.3	21,839	△ 1.3	10.5	4,066,643	△ 8.4	32.5

(2020年工業統計調査確報)

図Ⅲ－４ 千葉県の地域別の事業所数，従業者数，製造品出荷額等



(2020年工業統計調査確報)

表Ⅲ－５ 京葉臨海地域の素材型３業種の製造品出荷額等、付加価値額

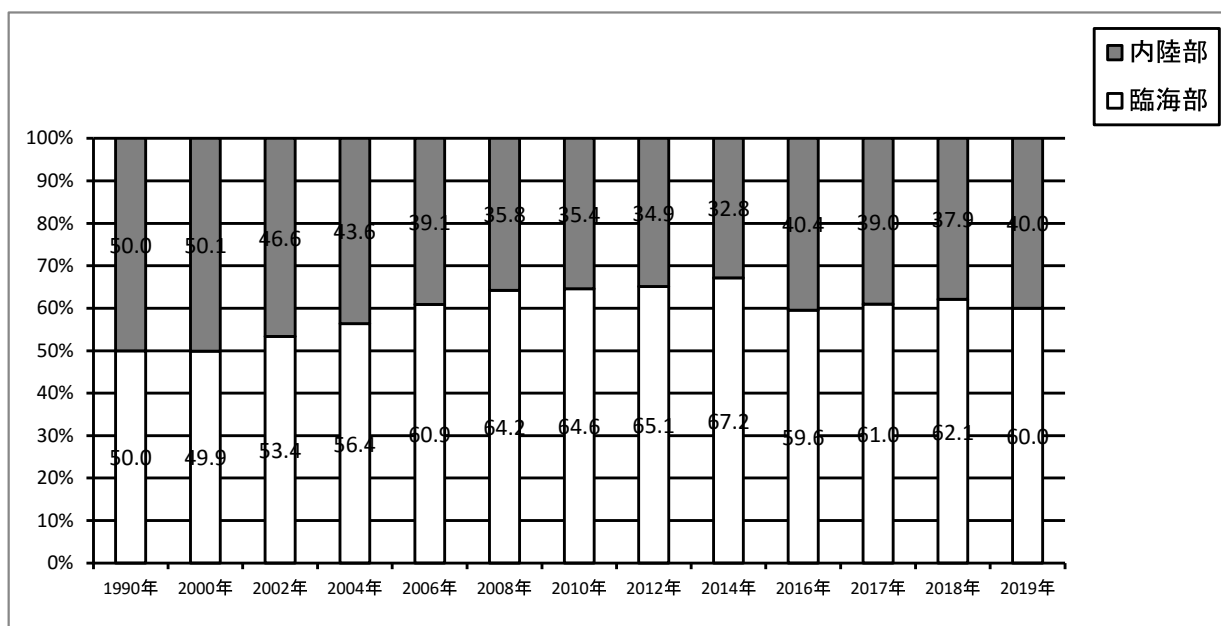
	千葉県		全国	
	製造品出荷額等 百万円	割合 %	製造品出荷額等 百万円	割合 %
総額	12,518,316	100.0	322,533,418	100.0
うち素材型３業種	6,675,885	53.3	60,808,452	18.9
京葉臨海地域	7,514,616	60.0		
うち素材型３業種	5,946,383	47.5		

	千葉県		全国	
	付加価値額 百万円	割合 %	付加価値額 百万円	割合 %
総額	3,111,532	100.0	100,234,752	100.0
うち素材型３業種	1,127,729	36.2	15,461,921	15.4
京葉臨海地域	1,338,499	43.0		
うち素材型３業種	844,539	27.1		

(2020年工業統計調査確報)

※ 素材型３業種：化学、石炭・石油及び鉄鋼をいう

図Ⅲ－５ 千葉県の製造品出荷額等における臨海部・内陸部の割合



(工業統計調査より加工)

臨海部：京葉臨海地域(浦安市、市川市、船橋市、習志野市、千葉市、市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市及び富津市の臨海埋立地)

内陸部：臨海部以外

② 千葉県の工業の位置

経済産業省公表の2020年工業統計調査確報によると

i 全国の状況

事業所数	181,877 事業所
従業者数	7,717,646 人
出荷額等	322兆5,334 億円

ii 千葉県の状況

事業所数	4,753 事業所 (全国に占める割合2.6%)	[2.6%]
従業者数	208,486 人 (同 2.7%)	[2.7%]
出荷額等	12兆5,183 億円 (同 3.9%)	[4.0%]

iii 都道府県別順位

事業所数	14位	[13位]
従業者数	12位	[12位]
出荷額等	8位	[7位]

[]内は前年調査

表Ⅲ-6 都道府県別主要項目に見る千葉県の位置

順位	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	都道府県		都道府県	人	都道府県	金額(億円)
1	大阪	15,522	愛知	848,565	愛知	479,244
2	愛知	15,063	大阪	444,362	神奈川	177,461
3	埼玉	10,490	静岡	413,000	静岡	171,540
4	東京	9,887	埼玉	389,487	大阪	169,384
5	静岡	8,786	兵庫	363,044	兵庫	162,633
6	兵庫	7,510	神奈川	356,780	埼玉	137,582
7	神奈川	7,267	茨城	272,191	茨城	125,812
8	岐阜	5,415	東京	245,851	千葉	125,183
9	新潟	5,053	福岡	222,453	三重	107,173
10	福岡	5,009	広島	218,639	福岡	99,122
11	北海道	4,982	群馬	210,730	広島	97,415
12	茨城	4,927	千葉	208,486	群馬	89,819
13	長野	4,767	三重	207,694	栃木	89,664
14	千葉	4,753	岐阜	203,537	滋賀	80,485
15	広島	4,577	栃木	203,444	岡山	77,041
	全国	181,877	全国	7,717,646	全国	3,225,334

③ 県内資源の状況

i 天然ガス等の状況

〈全国第2位(※1)の天然ガス生産量〉

本県の天然ガスは、約300万年前から40万年前の地層中の地下水(かん水)に溶解した水溶性ガス鉱床として県下のほぼ全域に分布し、その推定可採埋蔵量は、約3,685億立方メートル(※注2)とされている。

現在、九十九里及び夷隅地域を中心として、約640本の生産井から、年間約4.3億立方メートルが生産されており、主に都市ガス及び化学工業用原料・燃料として利用されている。

しかし、1965年代から地盤沈下問題が顕在化したことから、県は関係企業と地盤沈下防止協定を締結し、地盤沈下の抑制を図っている。

(表Ⅲ—10)

※(注1)2020年経済産業省「生産動態統計年報」及び京葉天然ガス協議会調査、新潟県ホームページ「原油・ガスの生産概況(令和2年データ)」より推定。

※(注2)1987年10月30日付け千葉天然ガス技術委員会調査結果による。

〈全国第1位のヨード生産量〉

ヨードは、天然ガス採取のために汲み上げるかん水に含有されている。本県の場合、特にヨード含有量の多いこと並びに鉱床の規模が大きいことで全国一位とされている。ヨード含有量は地域によって異なるが、九十九里地域の南部では、かん水1リットル中100ミリグラム内外を示し、最も高いものは150ミリグラムも含有している。

現在、九十九里地域を中心にヨードの生産が行われ、2020年の本県の生産量は8,180トンと全国一(対全国比約83%)である。他には、新潟県、宮崎県で生産されている。

なお、ヨードの用途(2010年)は次のとおりである。

レントゲン造影剤(22%)、殺菌防かび剤(12%)、工業用触媒(11%)、医薬品(10%)、液晶関連(10%)、飼料添加物(7%)、合成樹脂安定剤(6%)、添加塩(4%)、除草剤・くん蒸剤(3%)、その他(15%)

(表Ⅲ—11)

表Ⅲ－10 天然ガス生産量

(単位:千m³(基準状態))

年	全国	比率(%)	千葉県	比率(%)	新潟県	比率(%)
2018	2,706,925	100	442,154	16.3	2,139,988	79.1
2019	2,524,118	100	433,527	17.2	1,970,452	78.1
2020	2,295,361	100	431,548	18.8	1,747,509	76.1

(資料:経済産業省「資源・エネルギー統計年報」及び京葉天然ガス協議会調査、新潟県ホームページ「原油・天然ガスの生産概況」より算出・推計)

表Ⅲ－11 ヨードの生産状況

(ヨード生産量の推移)

年	全国(トン)	千葉県(トン)	比率(%)
1989	7,760	6,634	85.5
1990	7,744	6,619	85.5
1991	7,670	6,550	85.4
1992	6,982	5,827	83.5
1993	6,489	6,038	93.0
1994	5,592	5,401	96.6
1995	5,492	5,405	98.4
1996	6,850	6,010	87.7
1997	6,790	5,856	86.2
1998	6,836	5,961	87.2
1999	6,752	5,700	84.4
2000	6,862	5,755	83.9
2001	7,188	6,065	84.4
2002	7,109	5,989	84.2
2003	7,330	6,140	83.8
2004	7,500	6,250	83.3
2005	8,180	6,620	80.9
2006	8,690	7,000	80.6
2007	9,500	7,500	78.9
2008	9,450	7,630	80.7
2009	8,460	6,810	80.5
2010	9,400	7,350	78.2
2011	9,450	7,200	76.2
2012	9,500	7,120	74.9
2013	9,520	7,140	75.0
2014	9,970	7,500	75.2
2015	10,800	8,370	77.5
2016	10,180	8,260	81.1
2017	9,830	8,070	82.1
2018	10,100	8,400	83.2
2019	10,090	8,290	82.2
2020	9,890	8,180	82.7

注:日本ヨウ素工業会調べ

ii 土石砂利採取の状況

〈砂利採取〉

山砂利採取事業は、河川砂利の枯渇化に伴い、1971年頃から急速に増加したが、河川砂利に比べその掘削工程が複雑で森林を伐採し表土を除去した後、山砂利を掘り起こし、使用目的により選別、洗浄を行い出荷されている。河川砂利に替わる陸砂利についても供給の限界に達しており、首都圏における山砂利の占める割合は大きくなっている。

(表Ⅲ—12)

〈土採取〉

1965年頃から宅地造成等に用いる土採取が増加したため、砂利採取法の補完として、1971年に旧土採取条例を、1974年に現行の土採取条例を定めた。

土採取は県下全域において行われ、宅地造成等による埋土又は盛土の用に供されている。

(表Ⅲ—13)

〈岩石採取〉

岩石は、房総南部と銚子地区の一部に賦存しているが、現在は安房郡鋸南町を中心に採石が行われている。鋸山周辺で、砂岩や頁岩が採取されているが、これらは埋立地や港湾建設に利用される「捨石」や埋立用として出荷されている。

(表Ⅲ—14)

表Ⅲ－12 首都圏の砂利採取認可量(2018年度)

(単位:千m³)

都県別	河川	山	陸	海	計	比率(%)
千葉県	0	20,824	0	0	20,824	64.8
その他 1都5県	1,057	6,513	3,740	0	11,310	35.2
計	1,057	27,337	3,740	0	32,134	100.0
比率(%)	3.3	85.1	11.6	0.0	100.0	

注:経済産業省調べ

表Ⅲ－13 砂利採取・土採取認可状況(2020年度)

管内	砂利採取			土採取		
	採取場数	認可件数	認可数量 (千m ³)	採取場数	認可件数	認可数量 (千m ³)
産業振興課(市原市等)	17	17	12,681	-	-	-
葛南地域振興事務所	-	-	-	-	-	-
東葛飾地域振興事務所	-	-	-	-	-	-
印旛地域振興事務所	11	12	633	1	1	-
香取地域振興事務所	9	11	1,149	9	9	167
海匝地域振興事務所	-	-	-	7	9	98
長生地域振興事務所	3	3	44	2	2	47
山武地域振興事務所	3	5	300	-	-	-
夷隅地域振興事務所	1	1	-	2	2	36
安房地域振興事務所	-	-	-	2	2	59
君津地域振興事務所	26	22	3,622	-	-	-
計	70	71	18,429	23	25	407

注:採取場数は2021年3月31日現在。認可件数は、2020年度中の累計数で、変更認可を含む。
認可量は、2020年度中に産業振興課及び各地域振興事務所が行った認可量の総計である。
四捨五入のため合計が合わないことがある。

表Ⅲ－14 岩石採取認可状況(2020年度)

管内	採取場数	認可件数	認可数量 (千トン)
産業振興課(県全域)	3	1	1,958
計	3	1	1,958